

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月9日

1. 下新町会館再建第4回目の活動は、2階の整理、1階床と床下、そして炊事場周辺の石膏ボード取り壊しまでできました。たまたま、大塚市議員さんたちのボランティア活動に助けられて、その災害ゴミの撤去作業まで完了しました。おかげ様で、撤去する災害ゴミは、エアコンの1部と障子、その他小物があるくらいです。

今後の問題は、この建物をリフォームするか、建て直すかの決断をしてから、進めなければなりません。お盆が明けてからできるだけ早い時期に役員班長会で方針を協議し、アンケート調査が必要かと思われます。様々な情報の集約をしたいと思っていますので、提案がある方は、ぜひ役員班長にお知らせください。

2つお知らせしておきます。その一つは炊事場の柱に白アリがいました。専門家にみてもらってはいませんが、壊滅的状況ではないと思っています。二つ目は、弁護士に相談すれば、会館の土地所有者の所有権は、20年以上経過していれば、時効が成立するのではないかとの情報です。であれば、途中で断念した14万円もかけた財産放棄のための手続きは何だったのか疑問が残ります。



2. しんばば支援センターは、8月11日を持って終了しようと考えています。

①8月12日（朝7：30、昼12：30、夜17：30）から、食事サービスは、人吉東小学校が担ってくれます。在宅避難の人も東校で準備してもらえます。ご希望の方は、明日（10日）午後3時までに支援センター（家城まで）お知らせください。東校の準備の都合がありますので、必要な方は必ず時間厳守をお願いします。

②洗濯機の撤去作業は17日まで延期します。もし、まだ必要であればお知らせください。グリーンコープには、まだ撤収の計画は相談していません。

③シャワー室の利用もまだ可能ですが、洗濯機撤収に合わせて終了したいと、考えてい

るところです。延長の必要な方は、お知らせください。

3. お知らせが遅くなってしまいました。旧3班の川村さん、8班宮崎さん、岩崎さんより、金一封及び支援物資を頂戴しました。ありがとうございました。まだ記録ミスが残っているかもしれません。お気づきの方は、お知らせください。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月10日

熊本山の店【シェルパ】(代表:阿南さん)の皆さんは、今日(10日)13時で、6班江藤さん宅の災害ゴミ搬出作業もって、私たち下新町のボランティア活動を終了されました。記録をさかのぼって見ますと、7月10日から来ておられます。ひと月以上の協力活動でした。マイクロバスと、数台の自家用車、時にはトラックを準備して災害復旧のために尽力いただきました。特に2班岡さん宅の作業では、地下駐車場のゴミの量が半端ではなく、シェルパの皆さんだけでも、延べ100人以上の力を借りて、復旧作業をしていただきました。「シェルパ」の皆さんの活動は、下新だけではなく、9日町にも、球磨村一勝地にも出向いて、復旧活動をして来られました。



6班江藤さん宅



2班岡さん宅



球磨村一勝地「宮園公民館」の泥排出作業

写真で記録を撮っていく事の大切さを感じます。この一瞬のショットでは、その作業ボランティアの全体を訴える器量はありませんが、この現場を見たり訪ねたりしたこともない、縁もゆかりもない人々が、汗を流して泥まみれになって復旧されます。また、一瞬の感動を写真に収めそこなった場面が、あまりにも多くて悔やまれます。

日本における民間ボランティア活動は、あまりにも【その個人の善意】に頼りすぎている気がしてなりません。私たちの町内の復旧活動に、市当局はどんな手を差し伸べてくれたことでしょう。コロナの問題もあって、これまでにない困難さも理解できます。しかしながら、何かが欠けているように思えます。

民間のボランティア組織が、災害を受けるたびに生きてきたものと思われます。個人レベルで、黙々と、その人自身でやれる範囲のボランティア活動をする若者にも出会えました。これまでの人生感をひっくり返してしまう【大災害】にあい、出会う事はなかったはずの人々との出会いは、人の優しさを育んでくれました。でも、こんな形だけでの出会いでは、寂しすぎるような...。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月11日

1. 金光教会救援隊の炊き出しボランティアが本日（11日）を持って終了しました。2回目の給食サービスも、1回目に引き続き4日間約500食、合計すると1000食ものサービスを頂きました。基本的生活インフラが十分ではない所は、下新町だけでも、未だに10世帯以上あります。12日からは、在宅被災世帯の給食サービスは、人吉東小学校の避難所に引き継いでいただくことになります。1日も早い水害からの復興を目指し、町内全体で支援していくうと思います。金光教会救援隊の皆さん、本当にありがとうございました。

2. 下新町の復旧状況は、放置された空き家と廃屋の数が3戸、復旧が不十分な家屋が6戸になります。路上の災害ゴミで、目立った箇所は4箇所ほどです。今後の、ボランティア要請は、川上記念球場にある市のボランティアセンターにしなければなりません。その要請の仕方も、世帯主がセンターへ出向いて申請することになっています。

これからは、改築、リフォーム等による災害ゴミが大量に出てくるそうです。そのためのボランティア申請ができるか正確な情報を持っていません。必要な方は、市のボランティアセンターに確認して改築、リフォーム工事を行ってください。自己判断で行うと、補助金が出ない場合があります。

電話連絡先：090-7150-8644（？）

片岡さんの空き地に、再び不法投棄されないよう注視していくかなくてはなりません。

これまで下新町は、幸いにもグリーンコープとか町民の個人的なつながりで、延べ500人以上のボランティア活動を受けることができました。コロナ問題を抱えていたため、極めてリスクの高い復旧活動であったことは否めません。そのような意味でも、自粛しなければならない状況にあります。

3. 8班の井上さんより、金一封いただきました。これまでの支援金は、20万円を超えました。支援物資も日本全国から大変な量におよびます。日々の支援活動のために、完全には整理できていませんが、できるだけ早く整理して、皆さんに報告します。いただいた支援金の残金をどのように使うか、検討しています。皆さんの提案をお知らせください。基本的には、会館復旧の資金として利用したいと考えているところです。

4. 球磨村の被災地救援活動は、少しづつ進んでいますが、未だに困難な状況です。球磨川沿岸の道路が寸断しているため、くま川南側の復旧が特に遅れています。必要な支援は、数多い中でも、

- ①トラックとドライバー
- ②家庭の泥出し作業

家庭の災害ゴミを撤去できないため、生活インフラの基盤整備が進みません。県と国による復旧作業は、未だに調査しているだけで、本格的に参入するのは、9月からだとか。

球磨村の災害の特徴は、各集落の戸数が少ないため、各被災地域の災害ゴミは総量としては多くはありませんが、村の面積が広い上に、借り集積所を作るにも場所の確保が困難なため、効率的な分別排出作業の計画が困難です。このまま、復旧活動が遅れれば遅れるほど、被災者は離村してしまうのではないかと危惧されます。



しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月12日

1. 12日から始まった、自宅被災の皆さんへの東小学校での配食サービスは、利用しておられるでしょうか。下新町の配食計画は、朝食2、昼食5、夕食7で申請しています。変更の必要があれば、お知らせください。

2. 下新町のボランティア活動計画をお知らせします。

①13、14の2日間、軽トラックで町内のゴミを回収して、数か所に集めようと考えています。

②17日、6班江藤さん宅の災害ゴミの持ち出しを、ボランティアセンターに申請しました。

③1班岡さん宅前の災害ゴミは、大塚市会議員のボランティアグループにお願いしましたが、日程は未定です。

まだ申請できていない家庭はあるでしょうか。残った廃屋と空き家については、町内とボランティアセンターでも対処できないため、市の判断を待つことになります。

3. 「頑張ろう人吉」と「がまだせ人吉」ののぼりを、くまもと友救の会副代表の尾方さんよりいただきました。市内の数か所にたてられています。もう少し早くたてたかったですね。景観だけでは見えない復旧の困難を、町内会全体で応援、支えていきたいものです。6班の園田さんから金一封いただきました。被災されおられるので辞退したのですが、...



4. 10日を持ってボランティア活動を終了された、【シェルバ】の皆さん、ささやかな慰労会を行いました。一ヶ月以上にわたるボランティアのおかげで、下新町の復旧は、急速に進展しました。申し訳ないのは、その慰労会の費用さえ、彼ら自身の負担だったことです。



5. 下新町役員班長会を計画しています。

日時：8月23日（日）午後6：30～

場所：家城自宅

議事：義援金と支援物資等の会計報告と、残金の使い道ほか

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月13日

【森ちゃんボランティア日記】

7/4：人吉の大水害ニュースを・・・。

7/8：宮城を出発・・・。

7/9：午後人吉到着し、個人でボランティアできそうな場所を探す。上新町でグリーンコープの方と出会い、下新町町内会長の自宅に転がり込む事となった。・・・。

・・・
(中略)

8/13：今日（13日）は、人吉に来てから、36日目。朝からなにかやらかしそうな気分の1日が始まった。球磨村那良口の路上災害ゴミ撤去作業に入って、1週間。

・・・(中略)・・・。

明日までかかりそうな気配の作業だったが、どうにかやり終えた。午後6時、第二小学校で自前のテント泊の予定だったが、家城さんに誘われるままに、二人で那良口完了祝いをすることになった。かわせみ温泉で疲れを癒し、人吉に向かった。家城さんより電話があり「ごま油」を買うため、中林町（？）のドラッグストア「コスモス」でお買い物。

何の問題もなく出発したが、事件が起きた。トラックの前輪は問題なく国道に出た。そのまま後輪も出る予定だったが、大きな音とともに車は止まった。車を降り、様子をうかがうと、左後ろの車輪が浮き、車体が縁石に乗り上げていた。考えられる脱出法を試したがお手上げ。家城さんに電話して、助けを乞うことになってしまった。

脱出案は、ジャッキで車体をあげ、左後輪に角材をしいて縁石を超えるという。トラックのジャッキが何処にあるかさえわからず苦戦したが、計画通り角材をしきジャッキを下げた瞬間、車がバックし始めた。最悪、車体の下でうつ伏せになろうと思ったとたん、

「森ちゃん、逃げて！」の言葉で、体が反応し、脱出できた。車は、1mほど下がり、前輪が縁石にあたって止まった。タイヤが4輪とも地面についたので、車を前後させながらようやく脱出できた。

ごま油を、料理途中のマーボー豆腐に流し込み、完成した。2品目の餃子が、探しても探しても見つからず、水餃子が焼かれて、食卓にのぼった。お酒を飲み、今日の事件を3品目の肴として、会話の花が咲き、12時近くにお開きとなった。

大きな事故になりかねない1日だった。記念に写真も撮らされた。また、これを肴にしようという魂胆では・・・。さすがに、疲れも蓄積してきた。明日は午前中休むことにしよう。そういうえば、なぜ都合よく、あそこに角材があったのか。縁石にも古い傷がたくさんあったような・・・。（現場検証に行ってみよう。）

やっぱり、僕だけではなかったんだ？。でも角材はなくなっていた。

教訓①：ジャッキを使うときは、必ずサイドブレーキを確認しよう

②：ここのコスモスは、脱出用角材を常備すべし



しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月14日

1. 今朝（14日6：30分）先祖のお墓を清掃し、お参りしている親子が。ゴミ回収中に目に飛び込んできました。「関心な母娘、、、。そういえば家は何もしてなかった！」と、和尚から電話が入ってきました。「お盆、どうします？」もしかして、来年まで先延ばし可能？とはなりませんよね。夕刻にも清掃してお迎えしないと<<<>>>。15日の朝7時に法事をお願いすることで、和尚に了解いただきました。「日本人は、いいわね。」とユダヤのイザヤ何とかさんが言ったとか？ご先祖様すんまっせん！！。

2. 8班の一山さん、ご苦労様です。朝6時、トラック一杯に積み込まれた、どこかの災害ゴミ（布団）が、水をしたたらせ、玄関の庭先で鎮座ましましておられました。



3. 17日に予定していた、6班江藤さん宅の災害ゴミを、フリーボランティアの園田さんグループにお願いできました。ひまわり保育園の白濱さんも協力いただき、予定していた搬出作業の7割方完了しました、ありがとうございました。問題は、庭の泥をどうするか検討しなければなりません。草と一緒に搬出しようにも、市が受け付けてくれません。



4. 合ノ原町災害ボランティア（大塚さんほか6名）軽トラック4台に、1班岡さん宅、6班綱木さん、町内会館の災害ゴミを処分していただきました。これで、町内の災害ゴミは、だいたい土砂になろうとしています。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月15日

1. お知らせです。

①6班の原田さんより、未使用のガスコンロを提供したいとの、お話をいただきました。
魚焼きはついていません。必要な方は、支援センター（家城）か、直接原田さん（娘：碓井さん）にお尋ねください。

②2班安武さんからの情報です。

左表のとおり、このプロジェクトは全国の皆さんの支援で成り立っています。今後も、様々な支援物資が届きます。必要な物資力ありましたら、お尋ねください。

協賛全国の支援者様

スター・ムービング様

真備町有志の皆様。

朝日新聞厚生文化事業団様

新栄合板株式会社様

また別件ですが

・洗濯用洗剤
・食器用洗剤
・シャンプー・リンスのセット
を物資としてうちに届けて頂いています！

必要な方は袋を持って、うちに来て頂けると有難いです！

16日までは私達夫婦も確実にいますので、できれば16日までに来て頂けると有難いです！

それ以降も在庫があれば続けて配布します！それぞれ約100個ずつ位はあるので、町民のみなさんにお配りできるとは思いますが、なくなり次第に終了になります。宜しくお願ひ致します！

2. フリー・ボランティアの園田グループが18名が、森君とグリーンコープに合流し。神瀬方面と、淋、大坂間方面へ出発しました。くまもと友救の会は、三ヶ浦鵜口の災害ゴミ撤去を、ほぼ完了する様です。今後の球磨村ボランティア活動は、重機操作ができる組織と、泥排出を人力に頼る組織との連携を図りながら、運営されて行くことになるそうです。ようやく、ボランティア組織としてあるべき姿が生まれるようになりました。

しんばば支援センターは、その補助的支援活動を、しばらく続けていきたいと思っていますが、17日のしんばば災害復旧のめどがたち次第、必要な情報が出た場合に発行する「しんばば便り」不定期情報紙へと変更します。生活インフラは、まだ完全ではありません。町内会全体で、再出発のシナリオを描いていきましょう。

熊本豪雨災害支援活動 !!

8月17日(月)11時30分より人吉市観音寺にて、

第7回家電無料配布開催致します!!

第1回コンパネ無料配布致します!!

軽トラ無料貸し出し付き

支援物資の在庫状況です。(8/14現在)

食器棚大×3
整理タンス大×3
整理タンス小×1
洗濯機×7
冷蔵庫×13
収納棚×1
電子レンジ×7
イス×4
ストーブ×3
カスレンジ×1
扇風機×10
テレビ台×1



しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月16日

1. 6班の園田さんには、災害ゴミ処理のため、かれこれ2週間以上軽トラックを借りていました。返却のための掃除中、脳みそが勝手に作業していました。

新型コロナウイルスの脅威は、全世界の経済を崩壊しかねないそうですが、下新町に来たウイルスは、組織、グループ、そして全く単独行動を得意とする、**災害ボランティア支援症候群**の人たちでした。それにしても、下新町に来てくれた感染者の拡散病状はすさまじく、延べ600人の人たちが、自前でガソリン代、食事、作業道具、さらにはリースでトラック、ユンボなどの重機を持ち込んで、災害復旧に尽力を惜しまない人たちでした。

その人々の普段の生活サイクルの中で、いざ、どこかで災害が起きると、**第1に選択する項目は【復旧作業のために行動を起こす事】**なんというバイタリティーでしょう。

私たちは、平穏な生活を前提として、少しでも老後の不安が無いよう、自分自身と家族の安心のために行動していますが、あっという間に生命の危機と財産喪失に遭遇することで、人は変わるものなのでしょうか。細々と日々蓄積してきた、かけがえのないものを、一瞬にして失ってしまう。再起をはかるには、相当の時間が必要な気がします。今回出会った、ボランティアの皆さんの中で、中心的な役割をしている人は、ほぼその人自身が災害にあわれた人たちでした。

残念なことは、そのボランティアの人々によるサービスは、**無償で行う善意の行為**である事を認識できず、個々人のボランティアを批評する被災者が存在すること。

無償ボランティアに対する、経済的、社会的地位向上のための、(公としての)何らかの手立てが皆無であること。かつて、海外青年協力隊と言う、国が実施していた途上国支援の制度も、帰国後の青年たちの公的保証はなかったかに聞きますが、近年、毎年、日本国中で何度も起きる大災害を前に、政治家たる立場の人は、何か考えるべきでは????。

最愛のボランティアウィルスと共生している森ちゃんを見ていると、嫁を貢ぐ気など毛頭ない気配をまき散らし、泥まみれになって、今日も球磨村のどなたかの床下に潜っているはずです。

2. 会館再建ためアイデアはないかと、考えてみますが妙案がありません。現在の場所に建てるとしたとき、少なくとも総2階建てが必要ですし、平屋にするなら、水没しない場所まで考慮しなければなりません。いずれにしても2000万円はかかるのでは・・・。現在下新町は300万円持っていますが、しんばばだぬきの皮算用でも、1000万円以上不足します。その資金調達はいかに・・・。

案1、クラウドファンディングを計画しようにも、目標額に届かない場合は、提供を受けられないとか。アドバイザーでも探さないと、相当ハードルが高そうです。

案2、リゾートオーナー制度の様に、会館の1室をコンドミニアムにして、部屋が空いている限りオーナー(年間に利用できる回数をオーナーの出資額に応じて)は、いつでも会館の1室を利用できる。(10万円×50=500万円)

案3、望み薄ですが、町内の地域に限らず、町内会の会員になれることを逆手にとって、町外の会員を募集する。(?)

案4、1階を駐車場にして、駐車料金を会館建設資金に充てる。(10年で100万円)

どこかに【打ち出の小づち】が落ちていないものか。それとも鬼ヶ島のお宝でも分けてもらえないものか・・・。

3. 明日17日の作業は、ボランティアセンターにお願いしている6班の江藤さん、綱木さんの災害ゴミ処理作業になります。その後のボランティアセンターに要請している作業はありません。

4. 昨日お知らせした、8月17日11時30分より、観音寺で家電を数量限定で無料配布をするという内容についてですが、当日は定時までに現地にお越しいただきましたと、抽選により家電をお渡しすることになるとのことです。

明日17日は、休刊します。ダジャレも枯渴してきました。15日は、人々、焼酎を飲まなかつたのが原因でしょうか。今日は隣町の同級生の差し入れの焼酎で、活力を取り戻そうと思います。頑張ろう人吉！がまだせ人吉！！乾杯！！！

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月18日

1. グリーンコープ60万円の資金協力で、いよいよ片岡さん空き地の砂利敷きが始まります。敷設工事は、リハビリテーション病院にお願いすることになりました。この度の、ゴミ不法投棄問題は様々なメディアにも取り上げられ、大災害時の課題として教訓を得ることができたのではないかでしょうか。幸いにも、下新町は40日目にして解決することができます。全国の災害地を回って災害ボランティアを経験している人たちの話の聞きかじりですが、1日も早く災害地から撤去しないと大きな問題が次々に発生すると言われます。

- ①被災者の復活の心が折れる
- ②自宅のゴミを撤去するため、公園や小学校、河川敷、山間地、様々な所に不法投棄が始まると
- ③放置することで、ゴミ崩落事故と共に、悪臭、ムカデ、ゴキブリ、ネズミ等々、公衆衛生上の危険性が起きる

最終的に、人吉市はあくまでも分別回収の立場を変更しなかったために、市街地のゴミは、なかなか撤去されませんでした。もし、くまと友救の会をはじめ、民間の災害ボランティアが協力してくれなから、下新町のゴミは未だに解決しないまま、大問題になっていたはずです。

市が、方針を押し通せた理由は二つあると思います。

一つは、人吉が大都会ではなかったため、無策に対する爆発が起きなったこと。
二つ目は、全国的な民間ボランティアのノウハウが、市政とは別ルートで生かされたこと
球磨村では、人吉とは違う特有の問題があります。小規模の村落が点在し孤立していること。住民の避難先の確認が遅れ生存確認が取れなかったこと。そして、避難所、仮設住宅やゴミ集積所の確保が困難である事。

今回の大災害で、困難さを更に大きくした原因是、コロナウィルスでした。被災地全体の復旧には、まだまだ先の長い戦いが続きます。長引けば長引くほど、被災者の皆さんのが、折れてしまう事が心配です。

2. 17日（月）は、ボランティアセンター経由で、熊本国府高校サッカー部30名の応援をいただきました。6班の江藤さん宅と綱木さん宅を中心に、作業をしていただきました。困難だったのは、綱木さん宅の床板はがしでした。それでも6割程度の進捗がありました。江藤さん宅もそうですが、庭の泥撤去作業ができませんでした。その原因是、市の方針に問題があります。

【泥と草と一緒にしたものは回収できない】

本来ボランティアには、家屋内の作業をお願いしなければならないようですが、高校生の一部には、可能な限り草払いまでお願いしました。ただ、その作業用具が用意できなかつたため、十分な成果は出ませんでした。江藤さん宅の屋内計画はほぼ完了できました。国府高校サッカー部の皆さん本当にありがとうございました。



3. 18日今日現在、ボランティアセンターへの申請はしていません。気掛かりなところ（徳富、中村家）はあります、しばらく様子を見ようと思います。また、綱木、江藤さん宅の追加ボランティアも検討しなければなりません。徳川市議員の情報によると、【ゴミ交じりの土砂を、市が回収するようになった】と聞きます。なんちゅうことでしょう。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月22日

1. 観音寺で行われる【熊本豪雨災害支援活動】についてお知らせです。

前回は、8月17日（月）でした。今回は、第7回目、23日（日）午前11時30分
家電無料配布が行われます。ご希望の方は、その時間までに、観音寺に出向いてください。
運搬の車がなくても、抽選に当たった人の自宅まで、運んでくれます。

下図「おやっさん：井出順二さんのフェイスブックより」

04:28 0.01 今日は、女性ボランティアスタッフの
酒井さん、薫さんが毎晩遅くまで探して回って
頂き、沢山の家電製品を買い付け成功しまし
た！
本当にありがとうございます！！
問い合わせは、人吉観音寺さんにはしないで
下さい。こちらにメールにてお願い致します。
【お願いと、ご注意!!】
暑いので、熱中症対策を万全にされてお越し下
さい！！
＊配布ボランティア様大募集！！メール下さい。
がまだそうよ！！熊本！！



おやっさんさん、他430人
コメント2件 シェア25件

かれらの活動を知りたい人は、下記のURLから、入ってください。

https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=1151673111874718&id=100010961190666&sfn_sn=mo&extid=NCnYO00ZNbL8GZhK

スマホで「おやっさん（井出）」を検索すれば、入ってい
けます。今後も、様々な支援物資が届くようです。どこか
に投稿されていましたが、例えばコンパネを300枚以上
寄付された企業があつたりしていました。

「問い合わせを観音寺にはしないように！」とあります
ので、支援物資が必要な方は、指定された時間までに、出向
いて抽選会に参加しなければなりません。次回は、いつ行
われるかについても、フェイスブックを直接検索していな
いと、分かりません。事前に分かれば、お伝えしますが、
ご希望の方は、しんばば支援センターの家城まで、お知ら
せください。

電話：080-5606-5407

2. グリーンコープの支援で実施してきたしんばば支援セ ンターの、洗濯機とシャワーは、8月31日で終了しま す。

3. 空き家対策として、連絡ができなかった最後のお宅と、
連絡が繋がりました。これからどうするかは、まだ何も決
まっていませんが、とりあえず町内全体の災害対策の方向
は、見通しが立ちそうです。ただ、「放置しておいてくれ」
等の返答で、手が付けられないお宅が、2軒あります。市
当局と相談しながら、今後の問題を検討していかなければ
なりません。

4. 冷蔵庫2台、ガスコンロ2台が、しんばば支援センタ ーにあります。もし必要な方は、早急にお知らせください。 なければ、24日に球磨村へ搬送します。

5. 23日（日）午後7時より、家城自宅で役員班長会を行います。 今後の下新町の復興について、ご意見をいただきながら、町内全体に諮っていきたいと考えて います。

- ①会館再生をどのような形で実施していくかが、最大の問題点です。
- ②支援金の精算も予定しています
- ③町内会で支援した方がいい箇所の把握
- ④今後の町内会行事の見直し
- ⑤その他

6. 球磨村の支援活動は、グリーンコープ、フリーボランティアの園田さんグループ、個人ボ
ランティアの森君を中心に、1日平均10名程度で毎日続いているが、グリーンコープを除
いて、一旦、8月いっぱいを目途に支援活動を終わられる見込みです。くまもと友救の会は、
週1~2回球磨村の災害ゴミ搬出活動を続けておられます。

下新町が、他町内より速く復旧できたのも、この民間ボランティアの皆さん方の心温まる善
意の賜物です。これをしっかり受け止め、感謝しながら、将来どこかで起きるであろう災害に
思いを馳せ、お返ししていければと思います。